

岐路に立つ 日本の政党政治

～問われるメディアの立ち位置～

会場参加

オンライン
参加

日本の政党政治が大きな岐路に立っている。夏の参院選を経て、大敗した自民党は総裁が交代、公明党が連立を離脱し四半世紀続いた与党の枠組みが解消した。分極化、多党化の様相を呈する政治に、物価高への不満や将来不安を背景とした有権者の投票行動が揺さぶりをかける。若年層が政治参加意識を高める一方で、民主主義を支えるメディアへの信頼は揺らぎつつある。「保守・革新」という従来の対立軸だけでは捉えきれない新たな潮流を、戦後日本の政党政治の歩みを踏まえつつ読み解く。

日時

2025年 **12月2日** 火
12:30～15:30 | 12:00 受付開始

場所

プレスセンターホール
日本プレスセンタービル10階

基調講演



ほ さか まさ やす 保阪正康

ノンフィクション作家・
ジャーナリスト

1939年12月4日、札幌市生まれ。同志社大卒。出版社勤務を経て『死なう団事件』で作家デビュー。主に昭和史の事件象を、関係者への取材を進

めつつ資料の分析や発見に努める。2004年菊池寛賞。主要作品に『昭和陸軍の研究（上下）』『ナショナリズムの昭和』（和辻哲郎賞）、『東條英機と天皇の時代』『田中角栄の昭和』『石橋湛山の65日』（第1回石橋湛山和平賞）など多数。最新作『なぜ日本人は間違えたのか』は現在ベストセラーに。



みず しま し ろう

水島治郎 千葉大学大学院教授

1967年生まれ。オランダ政治史、ヨーロッパ比較政治を研究。千葉大学大学院社会科学研究院教授、放送大学客員教授。主な著書に『反転する福祉国家——オランダモデルの光と影』（岩波現代文庫、2019年。第15回損保ジャパン記念財団賞）、『ポピュリズムとは何か—民主主義の敵か、改革の希望か』（中公新書、第38回石橋湛山賞。中国語訳・韓国語訳も刊行）、『アウトサイダー・ポリティクス』（編著、岩波書店、2025年）ほか。



おぎ うえ

萩上チキ 評論家

メディア論を中心に政治経済、社会問題、文化現象まで幅広く論じる。NPO法人「ストップいじめ!ナビ」代表理事。一般社団法人「社会調査支援機構チカラボ」所長。ラジオ番組「萩上チキ・Session」（TBSラジオ）メインパーソナリティ。著書に『災害支援手帖』（木楽舎）、『いじめを生む教室 子どもを守るために知っておきたいデータと知識』（PHP新書）、『社会問題のつくり方』（翔泳社）など。

パネリスト

プログラム

12:35 ▶ 第1部

■基調講演 保阪正康氏

13:35 ▶ 休憩

13:45 ▶ 第2部

■パネルディスカッション

15:30 ▶ 終了

コーディネーター



はやし

林 尚行

朝日新聞コンテンツ政策
担当補佐役

1995年東京大学卒業、朝日新聞入社。広島、神戸両支局、大阪社会部を経て2001年に政治部。小泉純一郎、加藤紘一、山崎拓、青木幹雄、小沢一郎、谷垣禎一の各氏らを担当した他、経済部で経済産業省取材も。鳩山、菅直人両政権で首相官邸サブキャップ、第2次安倍政権で首相官邸キャップ。政治部デスクの他、西部報道センターと大阪社会部で政治・選挙担当デスクを経験し、経済部長代理を経て政治部長。2025年4月から現職。

岐路に立つ 日本の政党政治

～問われるメディアの立ち位置～

参加費
無料

会場参加

申込方法

新聞通信調査会ホームページから

<https://www.chosakai.gr.jp>

新聞通信調査会

検索

QRコードから直接



定員 200人 (抽選)

申込受付期間 11月4日(火)～

11月18日(火)

※抽選結果は11月21日(金)以降にメールでお知らせします。

オンライン参加

申込方法

新聞通信調査会ホームページから

<https://www.chosakai.gr.jp>

新聞通信調査会

検索

QRコードから直接



申込締め切り日 11月25日(火)

※ご登録いただいたメールアドレスへ11月28日(金)以降に参加URL等の情報をお送りします。

お問い合わせ先 公益財団法人 新聞通信調査会 ☒ chosakai@helen.ocn.ne.jp



交通アクセス

プレスセンターホール

日本プレスセンタービル10階

東京都千代田区内幸町2丁目2-1

- 千代田線・日比谷線「霞ヶ関」駅 C4 出口より徒歩2分
- 丸ノ内線「霞ヶ関」駅 B3a 出口より徒歩5分
- 三田線「内幸町」駅 A7 出口より徒歩2分
- 銀座線「虎ノ門」駅 10 出口より徒歩7分